

News Release

アクセンチュア、最高経営責任者(CEO)に ウィリアム・グリーンを選出

※ 本報道資料は、4月8日にニューヨークで発表された資料を和訳したものです。

【ニューヨーク発、2004年4月8日】

アクセンチュア(NYSE:ACN)は、2004年9月1日付で、ウィリアム・D・グリーン (Dr. William D. Green) を最高経営責任者 (CEO) に選出することを決定しました。現在アクセンチュアでクライアント・サービスを統括する最高業務責任者 (COO) のグリーンは、現 CEO のジョー・W・フォーハンド (Joe W. Forehand) の後継者となります。フォーハンドは引き続き、会長を務める予定です。

「アクセンチュアでの26年間にわたるキャリアの中で、グリーンは、アクセンチュアのビジネスへの深い理解、たゆみない労働意欲、人材開発や人材管理を通して卓越したリーダーシップを発揮し、主なクライアントとの関係構築に多大なる功績を上げたことが評価され、この度 CEO に選出されました。」また、「アクセンチュアの経営陣としての貢献、IPO を通じたグローバル・パートナーシップ形態から株式会社形態への変革に関する実績、アクセンチュアのすべてのビジネスにおける経験など、グリーンは、私たちの企業経営に独特な洞察力を持ち込んでくれるでしょう。」と、現 CEO のフォーハンドはコメントしています。

アクセンチュアの取締役会のリード・ディレクターであるマーク・ムーディ-スチュアート (Sir Mark Moody-Stuart) も、「今回の CEO 選出にあたり、取締役会が複数名の候補者を検討しましたが、グリーンが、もっとも CEO としてふさわしい経験と能力を備える有力候補でした。」また、「取締役会では、グリーンを持つ卓越した知識・経験そして洞察力は、アクセンチュアのさらなる成長を導くために必要不可欠であると考えております。経営に対し直接の業務責任を負う企業の上級管理職として、アクセンチュアのパートナーらは、自社の CEO に対する独自の考えを持っています。彼はまた、そのような多くのパートナーからも圧倒的な支持を受けています。CEO としての仕事に有効に活用していくことになるでしょう。取締役会は、グリーンが立派な CEO として役割を果たすことができると確信し、ともに仕事ができることに喜びを感じています」とコメントしています。

今回 CEO に選出されたグリーンは、「取締役会からアクセンチュアの CEO に選出され、多くのパートナーからの強力なサポートを得られたことに、誇りと名誉を感じております。私たちのクライアントが高いビジネス・パフォーマンスを実現できるように、またアクセンチュア自身の高いパフォーマンスを証明する結果を達成できるような戦略を策定していきたいと考えております。アクセンチュアの9万人におよぶ社員は、この業界においてもっとも優秀なプロフェSSIONナルであると信じております。そして、私たちのリーダーシップ・チームは、経験や能力に長けています。また、フォーハンドが引き続き会長として就任することをうれしく思います。このことは、私たちのビジネスにとつ

て大きな変化のときに、リーダー企業としてのアクセンチュアの地位を、より一層強化することにつながるでしょう」とコメントしています。

グリーンは、アクセンチュアの経営陣のメンバーとして、著しい経験をもっています。現在彼は、クライアント・サービスを統括する COO（CEO 室の一部）として、アクセンチュアの全産業別グループ（全世界でクライアントにサービスを提供する窓口として機能する業界別の各グループ）の管理責任を負っています。グリーンは、取締役会のメンバーとして、2001 年の設立当初より、参画しています。また、2000 年 8 月以来、米国の統括ディレクターを務めています。

アクセンチュアがグローバル・パートナーシップ形態から株式会社の組織へと移行したときや、2001 年の IPO を通じて、グリーンは社内・外を問わず、中心的な役割を果たしました。彼は、グローバルで特別に編成されたアクセンチュアのパートナーのチームと密接に連携し、このような変革やその後の戦略を策定・実行しました。また、IPO 時には、投資家に対するスポークス・パーソンとして重要な役割を担いました。

26 年間にわたるアクセンチュアの主なキャリアの中で、グリーンはほとんどの産業別グループの管理職を経験しています。特にハイテク、航空機、テレコム業界に精通し、1999 年から 2003 年までは、通信・ハイテク産業グループの責任者として、2003 年度には 32 億 2 千万ドルの売上をもたらすほどの大きな部門へと成長させました。

グリーンは、1997 年から 1999 年までアクセンチュアの素材・エネルギー産業グループの責任者として、当時のアクセンチュアの総売上の 20%にあたる 20 億ドルの売上達成に貢献しました。1994 年から 1997 年に製造業グループを指揮する以前は、ニューイングランド地域の統括パートナーでした。

1977 年にアクセンチュアに入社し、1986 年にパートナーに昇進。
ディーン大学を卒業し、バブソン大学の MBA を取得しています。

2004 年 3 月にアクセンチュアは、フォーハンドが 2004 年 9 月 1 日をもって CEO を退任し、会長職に専念する旨の発表をすでに行いました。会長として、フォーハンドは、引き続き取締役会の議長を務め、戦略策定や経営に参画し、新 CEO のグリーンをサポートしていくこととなります。今後もビジネス・リーダーや官公庁のリーダーはもちろん、クライアントとの関係構築に尽力していく予定です。

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。私たちは、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、お客様と協力して革新の実現に取り組んでいます。アクセントチュアは、各業界や業務プロセスに関する高度な専門知識、世界で蓄積された実績や資産をもとに、最適な人材、スキル、そしてテクノロジーを活用し、お客様の経営効率をさらに改善します。世界 48 カ国に約 9 万人の社員を擁するアクセントチュアは、2003 年 8 月 31 日を期末とする 2003 会計年度の売上高が、約 118 億 US ドルでした (2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号: ACN)。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。